

平成16年9月期 第1四半期業績の概況（非連結）

平成16年1月26日

上場会社名 株式会社タカトリ (コード番号：6338 大証第二部)
 (URL http://www.takatori-g.co.jp/) (TEL:(0744)24-8580)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 増田 好美
 責任者役職・氏名 常務取締役管理本部長 北村 吉郎

1 四半期業績の概況の作成等に係る事項
 会計処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2 平成16年9月期第1四半期の業績概況(平成15年10月1日～平成15年12月31日)

(1) 経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年9月期第1四半期	1,983	-	220	-	211	-
(参考)15年9月期	6,725	16.7	596	-	554	-

(注) 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前期増減率であります。
 当該四半期より業績を開示しておりますので、前年四半期実績及び増減率は記載しておりません。

(2) 経営成績の進捗状況に関する定性的情報等

当四半期におけるわが国経済は、円高、不安定な国際情勢等の不安要因があるものの、米国経済の高成長に加え、企業収益の改善や設備投資の増加等により景気持ち直しの傾向が強まる環境で推移いたしました。当社が関わる液晶・半導体・電子部品業界においては、パソコンの需要回復、液晶テレビ市場の急拡大、デジタル家電の本格化等の影響を受けて、各業界メーカーが生産設備拡充の動きを加速したことで回復基調となりました。

このような経済、業界動向のもと、当社の売上高は、電子機器部門においては前期から検収・売上がずれ込んでおりました液晶機器事業の案件も売上計上でき、半導体機器・MWS両事業においても前期からの好調を維持いたしました。繊維機器部門においては、需要低下により前期に引き続き低水準で推移いたしました。液晶モジュール組立部門においては、ユーザーからの需要が大幅に落ち込んだため、低水準で推移いたしました。また利益面は、平成14年9月期下期より推進してまいりました基本方針により収益体質が改善したこと、一部の余剰在庫の販売による利益押し上げ効果があったことが大きく貢献いたしました。

その結果、当四半期の売上高は19億83百万円、営業利益は2億20百万円、経常利益は2億11百万円となりました。

事業の種類別売上高

	平成16年9月期 第1四半期 (自平成15年10月1日 至平成15年12月31日)	構成比(%)
	百万円	
電子機器	1,559	78.6
繊維機器	200	10.1
液晶モジュール組立	224	11.3
合計	1,983	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 財政状態の変動状況に関する定性的情報等

有利子負債残高が前期末に比べて3億65百万円減少し、11億9千万円となりました。なお、平成16年9月期末現在では10億15百万円になる予定であります。

3 平成16年9月期の業績予想(平成15年10月1日～平成16年9月30日)
 平成15年11月20日に公表した業績予想等について、特に変更はありません。

(ご参考)平成16年9月期の業績予想(平成15年11月20日発表)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	3,900	260	257	47	64
通期	7,000	480	475	88	05

以上